

江戸にゃんこ 振りむけば、猫 猫たちと過ごす江戸ライフ

太田記念美術館(神宮前) 23.04.01~05.28

前期 04.01~04.25 後期 04.29~05.28 (前後期で全点展示)



浮世絵に登場する動物たちのなかで、ペットとして最も多く描かれたのは「猫」であり、踊ったり勉強したりする擬人化された猫、化け猫、メス猫の一代記、鼠除けのお守りとしてなどさまざまな姿で表現されている。

<本展の構成>

- | | | |
|-----|-----------|---------------|
| 第一章 | : 猫は変幻自在 | —国芳の名作大集合— |
| 第二章 | : 振りむけば、猫 | —猫と暮らす江戸ライフ— |
| 第三章 | : 猫が紡ぐ物語 | —説く、化ける、仇を討つ— |
| 第四章 | : 猫に祈る | —害をはらい、福を呼ぶ— |
| 第五章 | : 猫と遊べば | —おもちゃ絵の世界— |

本展では、「歌川国芳」「歌川広重」「月岡芳年」らの優品からこども向けの「おもちゃ絵」まで、多彩な作品「約180点」が展示されている。

見どころ1：国芳「猫の当字」シリーズ全5点を展示！（前期）

見どころ2：国芳「其のまま地口 猫飼好五十三疋上中下」！（後期）上右図

「みょうかいこうごじゅうさんびき」と題された本作は、猫好きで知られた「国芳」の面目躍如たる作品で、東海道五十三の宿駅に日本橋と京都を加えた五十五の地口に、いずれも憎めない愛嬌があり親近感のあるさまざまな猫の姿と共に土地の名産などが描かれていて、猫の姿を楽しみながら旅ができる。

歌川国芳《山海愛度図会（さんかいめでたいずえ）》

本作は、タイトルを全て「～たい」の副題を持つシリーズで、浮世絵を通じ全国の名産を紹介する「全62枚」である。

襟元にじゃれついてくる「猫」に、「おやめ、おやめ」とでも話しかけているような様子で、嫌がりながらも愛猫が甘えるのが少し嬉しいような表情であるように見られる。

背景に描かれている名産品は「越中滑川大蛸」である。

